

①講演概要

1. 中国茶の概要

お茶は、茶園で栽培した生葉を加工することによって製品となります。

・中国茶は、基本的に蒸さず、発酵度で分類します。 ⇒炒ることで処理＝釜炒り殺青(sha qing)

・参考: 日本茶は、基本的に蒸し茶(煎茶、深蒸し茶、玉露)⇒蒸すことで処理＝蒸青茶(zheng qing cha)

中国茶には、葉を摘む季節により、春茶、夏茶、秋茶、冬茶があり、春茶が最も美味しいと言われます。

また、茶葉の成長環境分類により、平地茶と高山茶に分類され、高山茶が珍重されます。

2. 中国茶の紹介

【基本的には6分類】 発酵度で分類されます。

(1)緑茶(lu cha)(発酵度0%) 中国で、一番人気があるお茶とも言われる。日本茶のように、色は濃く出ません。

(2)黄茶(huang cha)(発酵度10~20%) 大手のお店でもなかなか見かけません。

(3)白茶(bai cha)(発酵度20~30%) 保存が良いと何年も持つので、ビンテージ茶として好む通の人がいる。

(4)青茶(qing cha)=烏龍茶(発酵度30~60%) 日本で一番なじみ深い烏龍茶のことです。

(5)紅茶(hong cha)(発酵度80~90%) 緑茶に次いで生産量が多い(輸出用)。勿論、ストレートで飲みます。

(6)黒茶(hei cha)(発酵度100%) 生茶(経年熟成)と熟茶(人工的に発酵を促す渥堆という手法)の2種がある。

・花茶(hua cha) ジャスミンなどの花の香りを付けたお茶

【中国十大銘茶】 一般に言われるのは以下の通りです。

西湖龙井 xi hu long jing、浙江省杭州西湖の緑茶

信阳毛尖 xin yang mao jian、河南省信陽の緑茶

太湖碧螺春 tai hu bi luo chun、江蘇省蘇州太湖洞庭山の緑茶

黄山毛峰 huang shan mao teng、安徽省黄山の緑茶

六安瓜片 liu an gua pian、安徽省六安の緑茶

庐山云雾 lu shan yun wu、江西省九江市南部の名山廬山の緑茶

君山银针 jun shan yin zhen、湖北省岳陽洞庭湖君山島の黄茶

武夷岩茶 wu yi yan cha、福建省武夷山の烏龍茶

安溪铁观音 an xi tie guan yin、福建省安溪の烏龍茶

祁門紅茶 qi men hong cha、安徽省祁門の紅茶

注記: 特定な茶葉を指していたり(緑茶、6種も、生産の70%だから?)、広範囲なもの

(武夷岩茶、安溪铁观音)を指していたり、黄山毛峰より、太平猴魁の方が高価で美味しい、

一般的でない黄茶が含まれていたり、白茶、普洱茶が含まれていない等疑問に思える内容です。

結論: 中国ではお茶が多すぎて、整理できないほどあり、比べるのは不可能だと思います。

【お勧めのお茶】

・緑茶

西湖龙井(xi hu long jing) 浙江省 No.1緑茶(高級品は冷蔵保存)小茶葉。

洞庭山碧螺春(dong ting shan bi luo chun) 江苏省苏州市 中国十大銘茶の一つ。

太平猴魁(tai ping hou kui)安徽省黄山市 上級者向け最上級レベル緑茶 1915年パナマ万博で金賞。

安吉白茶(an ji bai cha) 极白(ji bai) 名前は白茶でも、上品な緑茶です。

・白茶

白牡丹(bai mu dan) 済んだ薄い黄緑色の上品なお茶。

・紅茶

正山小种(zheng shan xiao chong) 英国で有名なラプサンスーチョン紅茶(スモーキーな紅茶)

・黒茶

普洱茶生茶(pu er cha sheng cha) 日本でお目にかかることは非常に少ない。

・青茶(=烏龍茶) 武夷岩茶と鉄観音に、大きく二分されます。

大紅袍(da hong pao) 武夷岩茶の中の高級品。超有名なお茶。

肉桂(rou gui) 言葉は中国語でシナモンを意味するのですが、肉桂岩茶はキンモクセイに似た香り。

賽珍珠(sai zhen zhu) 八馬茶業の特別な鉄観音。(私見)おそらく一般に入手可能な最高(味、香)のお茶!

黄金桂(huang jin gui) 比較的発酵度を低くして製造され、そのために水色は薄く、黄金色です。

凤凰单丛(feng huang dan cong) 広東省潮州市の鳳凰山で栽培される茶樹を原料にしたお勧め烏龍茶。

3. 注意点

中国でお茶を購入の際、どのお店でも試飲が出来ますので、必ず納得してから買いましょう。

美味しいお茶は、250gで5000円~10000円くらいします。特級か一級の等級のお茶を買いましょう。